
四季 ~shiki~

桜木 桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四季 ～shiki～

【Zコード】

N1427P

【作者名】

桜木 桜花

【あらすじ】

初めて書く詩です。感想など、いろいろ意見をおよせください。

「春」

「かぜさん、かぜさん、どこへいくの？」
小さな男の子が言いました。
「みんなに花の匂いを届けに行くんだよ。」
風はそう言つと、男の子の鼻をくすぐつて、
ピューンと飛んで行きました。

「わくわくん、わくわくん、なにをしているの？」
小さな女の子が言いました。

「桃色のキレイなカーペットを作っているよ。」
桜はそう言つと、女の子の足元に、
きれいなカーペットを作りました。

「はるさん、はるさん、聞こえてる?
ちいさくてきれいなはるのあと。」
小さな子供たちが言いました。

「聞こえているよ。僕が鳴らしているんだもの。
春はそう言つと、みんなの肌に、
あたたかい毛布をかけました。

「夏」

太陽がギラギラと輝いて、
海にキレイな宝石をちりばめている。

風が 穏やかに ふいて、
海を ゆっくり ゆらしている。

田舎にある 大きな 大きな 木陰で
私は 海が 鳴らしている 音色を
BGMにして

本を 夢中になつて 読む

潮の 句いの 香水が
私の周りを 取り巻いて

暖かい 夏の風が
私や 他のものを 包んで

今年も 夏が來た。

「秋」

秋になると

山は
きれいな 着物を 着る。
金色 黄色 オレンジ色 赤色
明るい 鮮やかな 着物

虫は

『リンリンリーン』
と静かな音楽を演奏する。

「冬」

雪の粘土で 雪だるまを つくる
やつぱり 冷たい

雪のベッドに 寝転がって 天使を つくる
やつぱり 寒い

空から降つてくる冷たい雪
毎年見るたびに
心が暖かくなるのは
なぜだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1427p/>

四季 ~shiki~

2010年12月19日01時21分発行